

心の「ピアサポート」相談電話を開始します！

— 精神しょうがい当事者・自助グループによるピアカウンセリングです。 —

この度の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

主催： 宮城精神しょうがい者団体連絡会議（宮精連）

心のネットワークみやぎ

精神しょうがい当事者による電話相談 月～土 10:00～16:00まで（6月1日より）

日曜・祝日はお休みです。無料相談ですが、電話料金は相談者の負担となります。

電話番号 022-308-6067 2年間ぐらいの予定を組んでいます。

震災後における[心の悩み]を主に電話相談を行い、傾聴を旨としたカウンセリングや適切な精神医療保健福祉情報を提供することによって、精神しょうがいの再燃、再発、精神しょうがいの予防、エンパワメント、精神しょうがい者の権利擁護に寄与する。

◆趣旨： 3月11日の大震災から既に2月半以上が経過しましたが、ご家族を失った方、今なお行方がわからない方々の悲しみは計り知れません。又、住居や、生活の基盤を根こそぎ失い途方に暮れ、避難所生活を余儀なくされている方も未だ多数おられます。一部には、おおしく生活の再建に立ち上がった勇氣ある方の報道もされていますが、実際の再建には、気の遠くなるような長い時間と、数々の困難が待ち受けていることでしょう。

私たち宮精連と心のネットワークみやぎは、こんな時に、精神しょうがい当事者に何が出来るのかを話し合う機会を幾度も持ちました。

金力に乏しく、体力的にも不十分な私たちに、いったい何が出来るのか？私たちは、精神しょうがい者として、この生きづらい世の中を、同様な病に苦しむ仲間と助け合いながら生きて来ました。そうした私たちの「生き様」こそ、皆様のお役に立つことが出来るのではないかと思ひ立ちました。

もちろん皆様からお電話でのお話を傾聴することが中心で、専門家でない私たちから、「ああしたらよい、こうすべきだ」とか申し上げることは多くはないはずです。しかし、アドバイスを求められた場合には、拙い私たちの経験から、お話しすることがあるかもしれません。

私たちは今回のような非常事態には、健常者もしょうがい者もないと考えています。お互いに仲間であり、心が壊れそうな時こそ、私たちはひとりではない、一絆(きずな)があるのだということを思い起こすべきでしょう。頑張り過ぎず、しかし、決してあきらめず、ともに一歩一歩前進して行きましょう。

◆個人情報： 本電話にて話された内容は事務局が責任をもって管理いたしますので、外部に漏れることは一切ありません。ご安心ください。

【助成団体：本事業は「NPO 法人ゆめ風基金」様の全面的な資金協力により実現したものです。】

後援： NPO 法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会（仙精連）、NPO法人ハートインみやぎ、仙台市精神保健総合福祉センター（はあとぼーと仙台）（予定）、宮城県精神保健福祉センター（予定）

※ 私たちみんなの経験と力と希望を分かち合って必ずやこの困難を乗り越えよう！